

金日成－金正日主義の本質的特徴について

オ ソン Chol
呉星哲

(朝鮮社会科学者協会)

金日成－金正日主義は長久の歴史的期間、朝鮮の現代史を新たに一変させることにおいて大きな変革的役割を果たしてきたのであり、今日も社会主義強国建設の偉業を完成させる朝鮮人民の闘争においてその威力を余すところなく誇示している。

金日成－金正日主義が歴史的にも現実的にも自己の生命力を余すところなく発揮していることは、時代と人民大衆の要求を正確に反映した思想として自己の固有な特徴を持っていることと関連している。

それでは金日成－金正日主義は、どのような思想であり、それが持っている本質的特徴は何なのかということである。

本稿では、金日成－金正日主義の本質的特徴に三つの側面から言及する。

金日成－金正日主義の本質的特徴の一つは、何よりもまずそれが人民大衆第一主義であるということである。

金正恩同志は次のように述べた。

『偉大な金日成－金正日主義は本質において人民大衆第一主義であり、わが党の存在方式は人民のために服務することです。』（『人民大衆に対する滅私服務は朝鮮労働党の存在方式であり不敗の力の源泉である』11 ページ）

金日成－金正日主義は人民大衆を世の中で最も貴く力ある存在として押し立て、すべてのことを人民大衆のために服務させ、人民大衆に依拠しすべての問題を解決できるようにさせる、人民大衆第一主義思想である。

金日成－金正日主義の全般体系と内容は人民大衆を天と仰ぎ、人民大衆のため心をこめて服務し、人民大衆に徹底的に依拠する人民大衆中心の崇高な理念として一貫している。

人民大衆を勤労する人たちを基本とし自主的要求と創造的活動の共通性で結合した社会的集団、世の中で最も貴く力ある集団として押し立て、すべての拘束や隷属から解き放たれ自主的、創造的に生きて発展しようという彼等の自主的志向と創造的要求を実現させる原理と原則、諸方途を体系的に解明しており、人民大衆の自主性が完全に実現でき、創造的能力が最大に発揚できる社会制度を確立するためのすべての理論実践的諸問題に対して最も完璧な解答を与えている思想が、まさに金日成－金正日主義である。

世の中には多くの思想潮流と主義主張があるが、金日成－金正日主義のようにすべての体系と内容が終始一貫人民大衆第一主義に一貫した思想は、他のどこにも求め得ないものである。

それでは金日成－金正日主義が人民大衆第一主義となっている根拠はどこにあるのだろうか。

それは、人、人民大衆を中心に押し出すチュチュエ（主体）思想を真髓としているところにある。

チュチュエ思想は大きく分けて、哲学的原理、社会歴史原理、指導的原則の3種類の構成部分から成立しており、そのすべての構成部分はいずれもすべてが人、人民大衆を中心として展開している。

チュチュエ思想の哲学的原理においては、人がすべての主人でありすべてを決定するという根本原理を明らかにして、人は自主性、創造性、意識性を持った社会的存在であるということ、世界は人によって支配され改造される対象であり、世界は人の積極的な活動によって人のための世界に変化発展してゆくということを明らかにしている。

チュチュエ思想の社会歴史原理においては、社会歴史的運動の主体は他ならぬ人民大衆であるという原理、社会歴史的運動の自主的創造的であり意識的な性格と人民大衆の発展に伴う社会発展の合法的過程について明らかにしている。

チュチュエ思想の指導的原則においては、自主的立場を堅持し、創造的方法を具現しながら、思想を基本として掲げて進んでいくべきことを明らかにしている。

ここまで見てきたとおり、チュチュエ思想のすべての諸原理の中心には他ならぬ人、人民大衆がおかれている。

金日成一金正日主義はまさにこのようなチュチュエ思想を真髓とし、人民大衆中心の革命理論とチュチュエの領導方法を展開している。

チュチュエの革命理論は、勤労人民大衆を中心に据えて展開した革命理論である。

チュチュエの革命理論には、革命の一般原理と勝利の根本要因、人民大衆の自主性実現のための革命諸段階で堅持されるべき原則と闘争課業、方途に関する理論などが全面的に明らかにされている。

チュチュエの領導方法に関する理論には、領導原則から領導体系、事業方法や作風問題に至るまで、革命と建設を領導するうえで提起されるすべての問題が、人民大衆の自主的地位と創造的役割を最大限高める見地から解明されている。

こういった意味において、金日成一金正日主義はチュチュエ思想を真髓とする人民大衆第一主義だとしているのである。

金日成一金正日主義が人民大衆第一主義となることができたのは、人民の卓越した首領である金日成同志と金正日同志の「以民为天（民をもって天と為す）」の座右の銘や、それを具現するための革命生涯を離れては考えることはできず、そこからして金日成一金正日主義は、人類思想史において類例を求めることのできない最も崇高な人民大衆第一主義として特徴づけられることになる。

金日成一金正日主義の本質的特徴はまた、その構成において、思想、理論、方法の全一的な体系を備えた思想だということである。

思想理論の本質的特徴は、その真髓によってのみならず、構成体系によっても規定される。

人類思想史には、それぞれの時代の要求が反映され、それぞれの構想と体系により展開されるさまざまな思想理論があるが、整然性と全一性を最上の水準で備えた完璧な思想理論体系は、金日成一金正日主義のほかにはない。

金正恩同志は、次のように述べた。

『金日成一金正日主義はチュチュエの思想、理論、方法の全一的な体系であり、チュチュエ時代を代表する

偉大な革命思想なのです。』（『偉大な金正日同志を我が党の永遠の総秘書として高く頂き、主体革命の偉業を輝かしく完成していこう』7ページ）

金日成一金正日主義が主体思想を真髄とするからといって、純粋な哲学に局限した思想だというわけではない。

革命思想はその真髄から始まり、革命実践が要求する各理論分野を自己の独自の構成部分としてはじめて完成した指導思想となりうるのである。

金日成一金正日主義は、チュチュエの思想、理論、方法により構成されている。

チュチュエ思想は、金日成一金正日主義の最も重要な構成部分である。

先にも言及したとおり、チュチュエ思想は金日成一金正日主義の真髄を形づくる革命思想であり、それを土台としてそこから出発し、他のすべての内容と各構成部分が展開され体系化されている。

チュチュエの革命理論は、金日成一金正日主義の重要な構成部分である。

革命思想が人民大衆に自主性を実現するための革命闘争の進むべき道を科学的に明らかにすべき歴史的使命を全うするためには、必然的に革命理論を自己の構成部分としなければならない。

チュチュエの革命理論は、勤労人民大衆を中心に据えて展開する革命理論であり、勤労人民大衆の役割に基礎をおく革命の戦略と戦術である。チュチュエの革命理論には、人民大衆が自主的、創造的に遂行すべき民族解放、階級解放、人間解放に関する理論と社会改造、自然改造、人間改造に関する理論が全面的に明らかにされている。

チュチュエの領導方法は金日成一金正日主義の重要な構成部分である。

チュチュエの領導方法は、人民大衆が革命と建設の主人としての立場を守り、主人としての役割を全うできるよう導くための体系と手法である。

チュチュエの領導方法に関する理論により、領導原則から領導体系、事業方法や作風問題に至るまで、革命や建設を領導するうえで提起されるすべての問題が、完璧に解明された。

チュチュエの領導方法は、以前のどの思想でも提起され得なかった、新しく独創的な理論である。

朝鮮人民の偉大なる領導者金正日同志は、チュチュエ 65（1976）年 10 月 2 日に党の理論宣伝担当者と話された談話『金日成主義の独創性を正しく認識すべきことについて』において、当時まで労働階級の革命理論は領導方法問題を独自の理論により体系化することができなかったと話され、領導方法に関する理論を新しく明らかにし、独自の構成部分として体系化したことは、金日成主義の重要な功績であると教示した。

金日成一金正日主義においては、領導方法問題を革命の勝利のための根本問題の一つと考え、それについて全面的に解明したのであり、中でも執権党の領導方法、社会主義建設を領導する方法を新しく闡明し完成した。

金日成一金正日主義がチュチュエの思想、理論、方法の全一的な体系であるという構成上の特徴には、現時点での発展の進路が明白に反映されている。

人類の歴史とは単純な時間の累積や流れではなく、合法的であり変化発展する歴史である。

歴史が勝利のうちに前進するためには、科学的な革命原理と目的志向性を持って適用し、闘争段階に従った正確な戦略と戦術を適用しなければならず、大衆を率いる方法問題も正しく解決しなければなら

ない。歴史発展のこういった現実的要求から、現時点の指導思想は、思想、理論、方法の体系として構成されるべきである。

金日成一金正日主義は、歴史発展の進路を明示する現時点の指導思想として、このような構成上の特徴を完璧に備えている。

数千年にわたる人類思想史において、金日成一金正日主義のように思想、理論、方法の、独特でありながらも完成された思想理論体系を備えた思想は存在しなかった。チュチェの思想、理論、方法の体系は、金日成一金正日主義のみに固有の構成である。

金日成一金正日主義のもう一つの本質的特徴は、それが先軍により担保される思想であるということである。

金日成一金正日主義は、革命勝利を担保する先軍革命思想を自己の内容として包含している。

先軍思想は、人民大衆の自主偉業、社会主義の偉業遂行において軍事を重視して前面に押し立てており、革命軍隊を核心の力量とし、革命と建設全般を推し進めるべきであるという思想である。

先軍思想を持つことにより金日成一金正日主義は、その真髄と全般内容、構成体系においてのみならず、革命勝利を担保する面においても、自己の優越した特徴を持つに至った。

金正恩同志は、次のように述べた。

『先軍思想はチュチェ思想を具現してゆく実践闘争のなかで深まり発展した思想であり、チュチェ思想の要求を、完璧に、全面的に実現することができるようにする科学的な革命理論です。』（『金正日同志の偉大な先軍革命思想と業績を長く光輝かせよう』8～9ページ）

先軍思想には、革命は銃隊により開拓され銃隊により前進しながら完成されていくという銃隊重視の革命原理と、軍事を前面に押し立て、軍隊を主力軍として強調する軍事先行、先軍後労の原則、軍隊を主力軍として革命の主体をしっかりと作り上げ、それに依拠して社会主義の偉業を急がせる社会主義先軍政治理論が包含されている。

先軍思想は、金日成一金正日主義が提起するすべての理論実践的諸問題を解決し成果の獲得を可能にする思想である。

先軍思想は、チュチェ思想において第一生命として打ち出される人間の自主性の徹底的な実現を可能にする。

チュチェ思想は、社会的人間の本質的特性である自主性を、人、人民大衆の第一生命として打ち出し、それが完全に実現する時まで最後まで闘争すべきことを要求する自主思想である。

自主性を完全に実現すべきことについてのチュチェ思想の要求は、自然に実現されるものではなく、それを実現することができる確固たる担保としての強力な軍事的な力が必要である。

軍事的な力が強力であればこそ、帝国主義との熾烈な軍事的対決を伴う今日の世界の中にあっても、国家と民族の自主性を徹底的に擁護し、政治、経済をはじめとする社会生活のすべての分野において自主性を徹底的に具現してゆくことが可能になる。

先軍思想は、銃隊を前面に押し立て銃隊を強化すべきことを要求することで、強力な軍事的な力に依拠して人民大衆の自主性と国家や民族の自主性を擁護し実現する革命闘争を勝利的に前進させ完成してゆくべきことについて明らかにしてくれる。

先軍思想は、銃隊強化のための軍事事業を革命と建設の全ての分野の発展に確固として打ちたて、軍事事業の優先的かつ高い発展に基礎をおき、すべての分野の統一的かつ均衡ある発展を成し遂げるべきであることについて明らかにしている。

それとともに革命軍隊を核心とし主力軍として、革命の主体を強化してその役割を全方面において高め、革命軍隊の闘争精神と創造の気風、働く態度をすべての社会に一般化して革命と建設を急ぐべきであることを明らかにしている。

銃隊重視の革命原理と原則、先軍政治理論を明らかにする先軍革命思想を包括していることにより、金日成－金正日主義は自主時代の人民大衆の自主偉業の勝利を堅実に担保する思想理論的武器としての自己の使命と任務を円満に遂行することが可能になる。

このように金日成－金正日主義の本質的特徴は、それが人民大衆第一主義思想、思想、理論、方法の全一的な体系を成した思想、先軍に担保される思想ということにあり、それにより金日成－金正日主義は人民大衆の自主偉業を前進させる真の道を明示した、最も偉大な革命思想、最も生命力ある革命思想となるのである。

[日本語訳 松井聖一郎]

